



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

“洗えない夏服” に気をつけよう



さわやかな初夏は一体どこへ…? 真夏のような5月が終わり、まもなく梅雨。そして魚沼特有の湿度の高い蒸し暑い夏がやってきます。今年も記録的な猛暑になるようなので、しっかり対策をして過酷な夏を乗り切りましょう。

暑さ対策といえば、毎日の服選びがとても重要です。通気性がよく、さらさらして肌にまとわりつかないものを着て快適に過ごしたいものです。ぴったりしたものよりも、少しゆったりしたデザインの方が風通しがよいので、体感温度を下げるすることができます。夏はたくさん汗をかくので、手軽に洗濯しやすいものであることも大切なポイントですね。

夏服によく使われている素材の中には、洗濯機で洗うことができないものもありますが、みなさんは知っていますか? 木材パルプなどを原料とする再生繊維のレーヨンがそのひとつ。アロハシャツにも使われていて、シルクのようになめらかで肌触りがよく、吸湿性と放湿性に優れているため汗をかいてもベタつかず、とても着心地のよい繊維です。暑い夏にぴったりな素材だと思いませんか? ところが、水に濡れると強度が下がる・縮みやすい・シワになりやすい・水ジミがしやすいという短所があるため、**デリケート素材**に分類されていて、実は日常着には向いていないのです。着心地がよくても、手軽に洗えないとなると着るのをためらってしまいますし、知らずに間違った手入れをして着られない状態になってしまったら悲しいですね。レーヨン100%またはレーヨンの混紡率が高いものだと**家庭洗濯不可**となっていることがほとんどなので、購入時やお手入れの時には必ず表示を確認するようにしてください。他の繊維に少しだけ混ざっている程度なら家庭で手洗い(またはデリケートコースで洗濯)できるものもあります。左の枠内に手洗いマークの衣類を洗う手順をまとめてありますので、参考にしてください。自分でするのは自信がない、そんなに手間をかけたくないという人は、プロに任せてしましましょう! ドライクリーニングなら生地に負担をかけずに洗うことができますし、汗がたっぷり付着している場合でも、ウェットクリーニング(水洗い不可の衣類を特殊な技術で水洗いする手法)で水溶性の汗汚れもすっきり洗いあげることができます。ぜひご活用ください。



手洗いマークの衣類の洗い方



30℃前後のぬるま湯にデリケート衣類用の中性洗剤を溶かして洗剤液をつくり、その中で洗います。こすったり揉んだりせず、畳んでやさしく押し洗いしましょう。洗いの工程は1分程度で済ませ、そのあとは泡が出なくなるまで2~3回水を替えながらすすぎます。シワや摩擦を防ぐために、バスタオルで挟んで水気を取るか、洗濯機を使う場合は必ず目の細かいネットに入れて30秒程度の短時間脱水をします。形を整えてシワを伸ばし、風通しのよいところで陰干しをしましょう。



連絡先情報更新のおねがい

会員登録時にご提出いただいた電話番号が変わった方は、スタッフまでお知らせください。時代の流れやライフスタイルの変化により、固定電話を解約するご家庭が増えているようです。お預かりしたものについて確認したいことがあって電話をしてもつながらないことがあり、作業を進めることができない事案が発生しております。お手数ですが、以下の項目に当てはまる場合は、必ず**登録情報の更新**をお願いいたします。

- ▷固定電話を解約した
- ▷固定電話を使用していない(鳴っても出ない)
- ▷連絡先を携帯電話に変えたい
- ▷携帯電話の番号が変わった

電話ではなく LINE での連絡を希望される場合は、下記の手順でご登録ください。

※公式 LINE は1対1のやり取りなので、ほかの人に見られる心配はありません

公式LINE登録方法

- 1, 右の QR コードを読み取り、友だち追加する
- 2, 名前(フルネーム)をメッセージで送る

公式 LINE



営業案内 (赤い日は休業日)

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

OPEN*9:00-CLOSE*19:00

休みや営業時間は変更になることがあります

春の衣替え応援フェア
6月30日(火)まで開催中